

山口県労協機関紙 連合山口・労働金庫・全労済山口・県生協連・13地区労福協

やまぐち労福協 vol.151

2014.12月号

一般社団法人 山口県労働者福祉協議会

〒753-0078 山口市緑町3番29号 TEL(083)925-7332 FAX(083)921-1650
Eメール roufuku@orange.ocn.ne.jp 発行人:大塚健二・編集人:廣瀬哲夫

第36回福祉メーデー山口県集会開催

～ 連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！ ～

11月12日（水）山口市で地区労福協や事業団体から60名が参集し、第36回福祉メーデー山口県集会を開催しました。中野副会長の開会挨拶に続き、議長に岩国地区労福協事務局次長の山崎氏を選出しました。

県労福協 第36回福祉メーデー山口県



—山口県労福協 杉本会長—

主催者を代表して杉本会長は「県内の景気はゆるやかに回復基調にあるといわれているが、未だ生活者・働く者にとっては実感が乏しい。雇用状況も有効求人倍率は1倍を超えているが、正規社員で見れば0.7倍台、さらには求人・休職のミスマッチや業種によっては人手不足が深刻化している。賃金も今春闘では全体的に上がったが、業績の良い一部企業が牽引しており、総合的には勢いは鈍く、大手と中小の格差がさらに拡大したとの指摘もある。加えて、非正規労働者は低賃金のまま据え置かれている。こうした雇用・所得環境に拍車をかけるのが、政府が行おうとしている労働者派遣法の改悪。派遣は一時的・臨時的、均等待遇が原則で、このまま正社員から派遣への置き換えが進めば、未来の子供たちの就職は派遣ばかりということになりかねない。こうした中で働く者の暮らしを総合支援するのが労福

協活動であり、「連帯・協同で安心・共生の福祉社会の実現」に向けて努力していきたい」と挨拶しました。続いて大塚専務より、福祉強化キャンペーンの具体的な取り組み内容と平成27年度の対県要請について説明しました。事業団体の基調報告では、中国労金山口県営業本部から「家計見直しキャンペーン」について「生活応援運動の一環である助け合い制度として、利用者が「ろうきんを利用して良かったな」という実感を得られるよう総力を挙げて取り組んでいる。」と現状報告がありました。

全労済山口県本部からは自賠責共済の加入拡大について、「マイカー共済加入者で自賠責共済も全労済に加入している割合の向上が推進上の課題である」と報告し、具体的な推進活動への協力を要請しました。



—全労済山口県本部 中島事業推進部長—

山口県生協連からは「コープやまぐちの平和運動の取り組み」として“子供たちに平和な未来を残していく”という願いを実現するため、県内自治体との協働した取り組みや街頭署名活動などが紹介されました。引き続き、第24回勤労者文化展の表彰、集会宣言及びスローガンの採択を行い、有吉副会長の閉会挨拶により集会は終了しました。

◇ 2014年度 西部労福協研究集会 開催 ◇

11月13日（木）～14日（金）香川県高松市において「第33回西部労福協研究集会」が開催され、山口県労福協からは大塚専務他6名が参加しました。



—集会冊子—

西部労福協の伊丹会長、香川県労福協の進藤会長それぞれの挨拶に続き、来賓の天雲香川県副知事、高松市宮武局長の挨拶を受けて講演にはいりました。

講演1では、「スローライフのすすめ」のテーマでNPO法人スローライフの岡内須美子氏（元高松市副市長）が、「地域でのつながりを活かした活動で仲間をつくり、様々な取り組みを通じて役立つ喜びを得よう」と話されました。



—伊丹西部労福協会長—

続いての講演2では「グリーンツーリズム（※1）」の現状と取り組みについて、全国の先進地の状況や高知県四万十市での取り組み、香川県が推進している「里海づくり」の一環として東かがわ市での里海プロジェクト～漁食の振興～、について香川大学 原教授と学生

さん4名が共同で発表されました。（※1 青木辰司・東洋大教授による定義：農山漁村の有する歴史・社会・文化など、多角的な資源を活用した、都市住民と農村住民による、対等かつ継続的な交流活動）

2日目の講演3では、「まちおこし・労福連携モデル事業」の題目で、さぬき市大山市長が自治体首長として地方の財産や資源をより有効に活用すること、そのために行政だけでなく労福協との連携も一層強化して、小都市ではあるが活性化した魅力あるまちを作りたいと講演されました。



—NPO法人スローライフ 代表 岡内須美子氏—

いずれの講演も、日常の業務から離れた中での生活時間の使い方や行動を通じて地域の価値を見直し、また地域自治体や産業なども一体となった協働活動で活性化を図っていく取り組みを進めている実例で、これまでの研究集会になかった目新しいテーマでの有意義な研究集会となりました。

★エコキャップ回収報告★

山口県労福協は、環境保全と社会貢献に役立てるためエコキャップ運動を応援しています。労働組合や企業や個人の皆様のご協力により、

2014年11月末現在で、

1,158,918 個

（ポリオワクチン1,396人分）

が集まりました。ありがとうございました。

身近なエコ&ボランティア運動と一緒に始めましょう♪

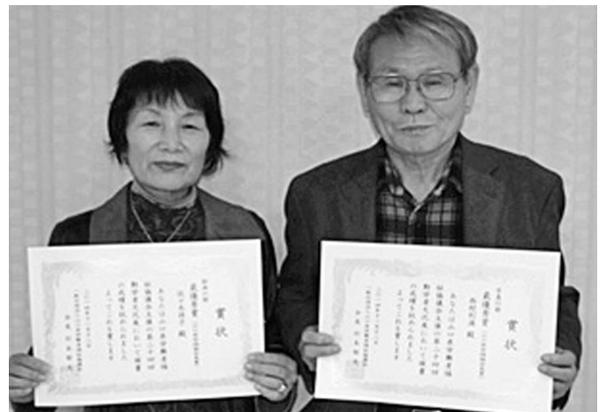
第24回 山口県勤労者文化展を開催

《最優秀》 写真の部：西村利満さん、絵画の部：佐々木祥子さん

県内の勤労者やOBの充実した芸術文化活動の促進を図ることを目的とし、毎年開催している山口県勤労者文化展も今年度で24回目の開催になりました。今年も写真41点、絵画19点の力作が揃いました。10月下旬には写真の部は写真家の栗林和彦氏と下瀬信雄氏、洋画の部は武田雅行氏（山口芸大）と菊屋吉生氏（山口大学）による審査が行われました。

審査員からは、写真の部は「ネイチャーフォトが多くなってきたが、身近なテーマの中に“不思議”を見つけてほしい」、絵画の部では「見ていて楽しくなるような、驚かされるような表現を期待する」とそれぞれ総評をいただき

ました。作品は11月8日～14日まで山口市の電遊館に展示し、多くの来場者にご鑑賞いただきました。



—最優秀賞の佐々木祥子さん(左)と西村利満さん(右)—

【第24回山口県勤労者文化展入賞者】

【写真の部】

賞	作品名	作者	職場・労働組合名
最優秀（山口県労福協会賞）	狩り	西村利満	神鋼特殊鋼管労組
優秀（連合山口会長賞）	多賀神社の大銀杏	岡村宏	中国電力ユニオン
優秀（中国労金山口県本部長賞）	村時雨	藤本哲男	日立ハイテクノロジーズOB
優秀（全労済山口県本部長賞）	虹の架け橋	福本高俊	彦島製錬
優秀（山口県生協連会長賞）	伝統を守る	坂本陽一	東ソー労組

【絵画の部】

賞	作品名	作者	職場・労働組合名
最優秀（山口県労福協会賞）	スポーツ公園のコスモス	佐々木祥子	県内退職者
優秀（連合山口会長賞）	故郷の棚田	橋本美保子	小林耳鼻咽喉科OB
優秀（中国労金山口県本部長賞）	トルコの風景	藤本徳子	山銀OB
優秀（全労済山口県本部長賞）	佐々並通り	福永敏夫	東洋鋼鋳労組
優秀（山口県生協連会長賞）	艶華	重田富雄	神鋼労組アルミ・銅支部長府地区OB

地区労福協だより

宇部「事業団体合同推進会議」開催



9月10日（水）に宇部労働会館において、宇部地区労福協主催の事業団体合同推進会議を開催しました。当日は44名の構成員が参加しました。主な内容として、全労済山口損害

調査サービスセンターから「こんなときどうなるの?!」と題して、交通事故における対応や損害賠償に関する詳しい説明がありました。続いて、中国労働金庫宇部支店から「家計の見直し」について、関連商品の説明がありました。これについては後日、参加者からローンの借換え相談があったとのことで、改めて利用者へ直接伝えることの重要性を認識できました。

今後も宇部地区労福協として、全労済やろうきんの活動へ協力してまいります。

周南「労働福祉セミナー」開催

11月5日（水）に平成26年度周南地区労働福祉セミナーを開催しました。



—講師の吉田清彦氏—

今年度は約120名の参加者が集まり、講師に講座企画塾の吉田清彦氏を招き、「女も輝き 男も輝き 男女共同参画でよくなる私たちの暮らし」の演題で、ご講演いただきました。

講演では、男女共同参画や女性の活躍が求められる社会的な背景についての理解を深めた上で「女性はもっと経済力を」「男性はもっと生活力を」「生きることを楽しめる働き方

を！」「明るい未来を自分たちの手でつくる」「男女共同参画で地域を元気に！」と様々な視点からお話いただきました。ワークライフバランスの充実が重要で、そのためにはストレスをためないことや上手く発散させることが効果的であるということを再認識することができました。

このセミナーで、私たち一人ひとりが今以上に輝き、そして自分らしい生き方を発見するきっかけづくりへと繋げていただければ幸いです。



2014年度「障がい者運転免許取得支援特別講座」

～今年で9年目、昨年度までに144名が受講～

山口県労福協が2006年度から社会貢献活動として取り組んでいる「障がい者の自動車運転免許取得支援特別講座」は今年で9年目を迎えました。今年度は、9月17日に山口南総合支援学校（協力：小郡自動車学校）で、また、9月22日に下関総合支援学校と豊浦総合支援学校の生徒を対象に早鞆自動車学校で開講しました。

開講式に出席した県（商工労働部労働政策課と教育庁特別教育支援室）の担当者からは「運転免許を取得することにより、今後社会に出てからの活動の範囲が広がります。運転免許の取得に向けて一生懸命勉強してください」と激励の挨拶を受けました。これに対し受講生

の代表から、「運転免許の取得に向けて、一生懸命頑張りたい」と決意を述べました。この講座の昨年度までの受講生徒数は144名です。山口総合支援学校（協力：湯田自動車学校）は11月27日に開講しました。



〈ろうきん〉の
キャッシュカードなら、
全国どのATMでも
お引出し手数料が

実質

0円!

無料、もしくは
全額キャッシュバック!



かかったお引出し手数料は
即時キャッシュバック!!*

*お引出しの時にかかった手数料をお引出し直後に、お客さまのご利用口座へ自動返金いたします。

ろうきんカードは、下記のマークのあるATM・CD機でお引出しいただけます。ご入金につきましては、ろうきん・セブン銀行・ゆうちょ銀行のATM、および入金ネットのマークがあるATMでご利用いただけます。

生活応援バンク ろうきん	セブン銀行	AEON Bank	ゆうちょ銀行	入金ネット

* 全国キャッシュサービス
※ 新生銀行・あおぞら銀行・商工中金を除く

各ATM・CD取扱時間は、店舗やキャッシュコーナーにより異なる場合があります。次の時間帯については、定期メンテナンスを行うため、すべてのATMでろうきんカードはご利用いただけません。
●毎月第1・3月曜日の2:00～6:00 ●ハッピーマンデー前日の21:00～翌朝6:00

生活応援バンク
ろうきん
(2014年12月1日現在)

中国労働金庫山口県営業本部 083-920-5205
※詳しくはお近くの営業店窓口にお問い合わせください

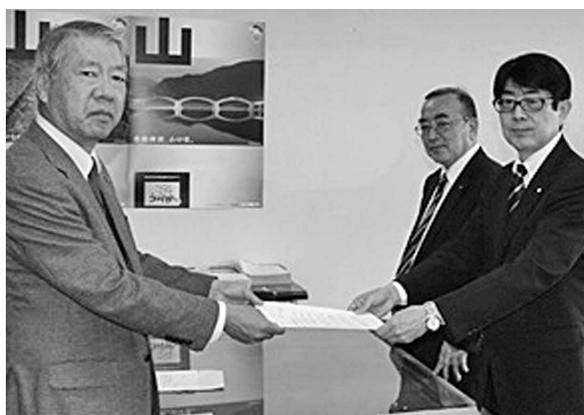


山口県知事へ福祉諸施策の充実等を要請

～平成27年度 勤労者福祉の充実・強化について～

11月27日、山口県知事に対し「平成27年度勤労者福祉の充実・強化」についての要請を行いました。要請には木村商工労働部長が対応、冒頭、杉本会長から県と商工労働部の労福協に対する様々な支援・協力に対して謝辞を述べるとともに「県内景気は業績の良い一部の企業が牽引しているものの、総合的に勢いは鈍く、特に中小企業は厳しいものがある。県として産業力の強化と雇用の確保という重点取組みを引き続き強力に推進していただきたい。県労福協は県をはじめとした関係機関と一層連携を強化して取り組みを積極的に行っていきたい。」と挨拶しました。引き続き大塚専務より、①制度・施策の充実と改善について②労働者福祉事業団体の育成強化について③財政援助についての具体的な要請事項について、主旨説明をしました。これに対し木村商工労働部長より「厳しい財政状況ではあ

るが、要請内容については知事に報告したい。なお要請項目に対する具体的な回答は各部署で検討したい。県労福協が長年にわたって“生活あんしんネット”や“若者サポートステーション”事業を積極的に取り組みされていることについて感謝を申し上げたい。」と挨拶がありました。この要請に対する回答は、来年度予算が固まる2月の予定です。



－ 杉本会長と木村商工労働部長－

生活あんしんネットより

福祉相談事例



【相談概要】

母親と二人暮らしの50代男性。半年前に会社を解雇され無職となった。就職活動をしているが、30社以上面接を受けても就労に至っていない。現在は母親の年金で何とか生活しているが、住宅ローンもあと10年残っており、暮らしは苦しい。健康面でも高血圧等の不安があり、心身ともに疲労困憊している。今後どうしたらよいだろうか。

【回答・対応】

住宅ローンの返済については、契約上の支払い方法に基づいて期間延長などを銀行へ相談することを勧めた。また、就労については、引き続きハローワークでの就職活動をするとともに、生活あんしんネットの就労相談の利用も勧めた。健康面は、かかりつけの病院で治療を継続し、食事や運動等の日常生活についてアドバイスした。

